

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第481号 2014. 8/10

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
発行人 高橋 廣

目	次
納涼会 賑やかに開催…………… 1	事務局レポート 理事会議事録…………… 5
会員業況アンケート調査結果〈全国版〉… 3	支部会開催等…………… 6
成形加工学会'14年次大会の概要と話題(四季)… 4	暑中広告…………… 8

納涼会 ～賑やかに開催 新旧理事、顧問が参加

～ブランド戦略の徹底追及にみるフェラーリの強さ～



【納涼会で挨拶する大野会長】

平成26年7月30日(水)新橋の第一ホテル東京にて、第338回理事会が開催されました。その終了後、工業協会役員、山下顧問並びにこの5月に退任された池下前理事をお招きし、総勢33名が参加し賑やかに納涼会が開催されました。

最初に大野会長が以下の挨拶をいたしました。
「本日は月末のお忙しい中を お集まりいただき誠に有難うございます。

特に、顧問の山下様・前理事相談役の池下様がお忙しい中をご出席いただきましたこと改めて御礼申し上げます。

今年の土用の丑の日は7月29日です。「土用」とは雑節(ごつふし)の一つで立春、立夏、立秋、立冬の前の十八日間を指します。これは古代中国の陰陽五行説思想に由来するそうです。丑の日にちなみ 馬や牛の肉 瓜や梅干しなどを食べるとスタミナがつくと信じられていて、鰻を食べる習慣は江戸時代の蘭学者：平賀源内が鰻屋の宣伝に、「本日、土用の丑の日」と書いたところ、暑さで売れずにいた鰻が売れに売れたことが始まりだそうです。

話が変わりますが「フェラーリ快走 車以外も

収益源」と題名で新聞に出ていました。

イタリアの高級車メーカーフェラーリが快走しているそうです。世界の富裕層から注文が増えているにもかかわらず、あえて昨年に販売台数を絞る戦略に転換しました。

それでも2013年は増収増益を達成しました。テーマパークなど自動車以外の「副業」でも利益を押し上げているとのことでした。

ブランド管理を徹底し、利益を最大化する経営手法は欧州お得意の高級ブランドビジネスそのものです。一日の生産台数は30台強、日本円で一台2千万円以上する高根の花のフェラーリだが、中国や中東などの富裕層の受注は増えているそうです。ルカ・ディ・モンテゼーモロ会長は「年間7000台以上は売らない」とのこと。狙いはブランド価値の維持だそうです。

2013年 売上高3250億円、営業利益506億円

2013年フェラーリ 一台の営業利益は330万円で、営業利益率は非常に高く14%になるそうです。

増収の確保ができた理由の一つはカスタマイズとのこと。車体の色から内装までの幅広い選択肢があり、購入予定者は本社を訪問し10以上のシートに実際に座って選ぶこともできます。これで一台当たりの販売単価を高めているのだそうです。

フェラーリは 欧米フィアット・クライスラー・オートモービルズ傘下ですが、独立経営が保証されており、そして販売店も別だそうです。

フェラーリはグループ販売台数の0.2%弱に過ぎないが、フェラーリが別格なのは、収益面では営業利益の一割強を稼ぐ実力ゆえとのことでした。「孝行息子」の特別扱いは続きそうだと結んでいます。ブランドビジネスの強さがここにあると思います。

さて、話は変わりますが、7月18・19日山形県で「ナノ構造ポリマー研究会」発表会があると齋藤理事から誘われて行ってきました。18日、米沢市小野川温泉で15時から3つの講演会がありました。

①帝人㈱、②アルケマ㈱フランスの会社、③東京工業大学で各1時間の講演会でした。翌19日は、山形大学工学部を見学し、伊藤教授が案内をしてくれました。大学施設内にはインジェクション機械4台、材料押し出し機1台そして金型を作る工作機械が備わっていました。日本の大学では5校がインジェクション機械を持っているとのことでした。山形大学・東京大学・京都大学後他に2校あるそうです。

私が感動したのは、三つの点でした。すな

わち、①大学でプラスチックの勉強を実際に機械を持ってやっていること、②大学を企業も応援しないといけないと痛感、③伊藤先生が技能試験の検定委員をやっていること、でした。

長々とお話をいたしました、本日は納涼会です。お仕事のことは忘れてゆっくりくつろいで戴き、情報交換をして頂ければ幸いです。ご清聴有難うございました」



【池下前理事へ感謝状贈呈】



【退任の挨拶 池下 龍氏】【乾杯の発声 佐藤副会長】



【会場風景】

この後、永年に亘り当工業協会の理事、副会長を務められ、その発展に大きく貢献を戴き、去る5月の通常総会をもって退任された池下 龍氏(不二プラスチック株式会社 会長)に感謝状と記念品が授与されました。

池下氏からは、いつの間にか永い年月(理事期間30年)が過ぎてしまった。業界の発展期、成熟期等に立ち会い良い経験をさせてもらい、多くの皆様に感謝したい旨のご挨拶を戴いた。その後、佐藤副会長の音頭で乾杯し、宴が賑やかに開かれました。

《平成26年4月～6月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数290社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	88社	神奈川県	37社	中部日本	58社	西日本	107社
-----	-----	------	-----	------	-----	-----	------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	34社	包装用容器・キャップ	42社	電気・電子・通信部品	56社
自動車・輸送機器部品	95社	住宅関連	12社	医療機器	9社
その他	33社				

3. 従業員数の内訳(パートを含む)

20人以下	75社	21～50人	73社	51～100人	54社	101～300人	54社
301人以上	20社						

4. 今期(平成26年4月～6月)の自社業況について(前期比・前年同期比%)

※ 3か月前比率/今回比率～下記の項目のうち、「増加」、「減少」欄等で比較しています。

	平成26年4月～6月(実績)					
	前期(26年1月～3月)比			前年同期(25年4月～6月)比		
	1. 増加	2. 横這	3. 減少	1. 増加	2. 横這	3. 減少
1) 生産・売上高	38.7/27.6	39.7	21.5/30.3	53.3/31.7	35.9	15.7/29.0
2) 製品単価	1. 上昇 4.7/7.6	2. 不変 75.9	3. 下落 18.2/13.8	1. 上昇 7.3/10.7	2. 不変 64.5	3. 下落 24.5/21.4
3) 採算	1. 好転 18.2/12.8	2. 横這 48.6	3. 悪化 27.4/36.6	1. 好転 24.5/14.8	2. 横這 44.8	3. 悪化 26.3/37.2
4) 所定外労働時間	1. 増加 24.5/17.6	2. 横這 57.6	3. 減少 14.6/22.1	1. 増加 30.7/20.7	2. 横這 54.1	3. 減少 10.9/21.0
5) 製品在庫	1. 増加 16.4/15.9	2. 不変 63.4	3. 減少 17.2/17.6	1. 増加 16.1/17.6	2. 不変 60.0	3. 減少 19.3/18.6
6) 材料原料単価	1. 上昇 58.8/56.6	2. 横這 39.7	3. 下落 0.4/1.0	1. 上昇 64.6/66.9	2. 横這 28.6	3. 下落 0.7/0.7
7) 総合判断	1. 好転 19.3/15.2	2. 横這 49.0	3. 悪化 26.6/32.8	1. 好転 27.4/21.0	2. 横這 40.7	3. 悪化 23.4/32.8
8) 26/7-9の見通し	1. 好転 12.8/17.6	2. 横這 55.5	3. 悪化 26.6/22.8	-	-	-

5. 当面の経営上の問題(%)

※ 3か月前比率/今回比率

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合
36.9/33.8	2.2/1.0	44.5/46.6	5.8/3.8	14.6/15.5	8.0/8.3
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 銀行の貸渋り	11. 人件費高	12. 技能者不足
8.4/11.0	58.0/61.4	7.3/5.9	0.7/1.4	12.0/17.9	20.4/21.4
13. 技術力不足	14. マーケティングが不足	15. 設備過剰	16. 法的規制	17. 為替問題	18. 環境問題
10.9/11.0	9.1/9.7	2.9/2.4	1.1/1.0	6.2/3.8	0.7/1.0
19. 人材育成	20. 研究開発	21. 事業承継	22. その他		
35.0/34.8	8.8/8.3	5.1/7.2	1.8/3.4		

成形加工学会'14年次大会の概要と話題（四季）

— 3Dプリンターなど —

恒例の成形加工学会'14が6月3日、4日の2日間にわたって江戸川区のタワーホール船堀で開催された。本大会も特別セッションと一般セッションに分かれて多彩な発表があった。また、平成25年度「青木固」技術賞は、「射出・延伸ブロー成形技術による微細発泡容器の開発（東洋製罐ホールディングス㈱/東洋製罐㈱）」と「射出成形による超薄肉インストルメントパネル表皮の開発（日産自動車㈱/カルソニックカンセイ㈱）」が受賞された。

さて、本大会では企画展示では「3Dプリンターと3D可視化技術の応用」が、特別講演では「アディティブ・マニュファクチャリング（3Dプリンター）の現状と今後の課題」の講演があった。注目される3Dプリンターの企画展示と講演に加えて、最近の関連技術情報を含めて紹介する。

アディティブ・マニュファクチャリング（AM法と略す）は、以前はラビット・プロトタイピング（迅速な試作）とも呼ばれていたが、最近では同名称に変わっている。3次元データから立体形状品を造形できることから「3Dプリンター」とも呼ばれている。AM法は切削法や射出成形法などに対し、積み重ねながら造形するのでアディティブと表現したものと推察される。分かりやすく言えば、子供のブロック遊びのように無数のブロックを1つ1つ積み上げることによって自由に形状を作り上げるイメージであり、これを微細なレベルで造形すると考えればよい。最近ではAMによって3次元データから迅速にモデルを造形する種々の方法が開発され、試験評価や実製品・部品としての実用領域が拡がりつつあることで注目を集めている。AM法の造形原理と対象材料を表に示す。

AM法(3Dプリンター)の造形原理と対象材料

方式	造形原理	対象材料
光造形法	光硬化性樹脂を紫外線レーザー光で選択的に硬化させ造形	アクリル系 光硬化樹脂
熱熔融積層法	細いノズルから押し出した溶融材料を立体的に積層造形	熱可塑性樹脂
粉末積層法	素材粉末を層状に敷き詰め、レーザー光で焼結・積層して造形	熱可塑性樹脂 ゴム、金属
シート積層法	薄厚シートをレーザーまたはカッターでトリミングしながら積層造形	樹脂シート、紙
インクジェット積層法	インクジェットプリンターで微量の樹脂や接着剤(バインダー)を噴射して積層造形	光硬化性樹脂

同表のように光造形法、シート積層法、インクジェット積層法などもあるが、熱可塑性樹脂に適用できる方法としては熱熔融積層法と粉末積層法がある。

熱熔融積層法では、ストラタシス社（丸紅情報システムズ㈱）は細いノズルから押し出した溶融樹脂を積層固化させ造形する「フォータス（FORTUS）」というシステムを展示していた。適用プラスチックとしてはABS、PC/ABS、PC、PA12、ULTEM（PEI）、PPSなどの専用材料を用いる。アーブルグ社は専用成形機を用い溶融樹脂を精密ドロップ吐出しサポート材を使用せず造形する「フリーフォーマー」と呼ばれるシステムを発表している（本学会での展示なし）。材料としては一般成形材料を使用できるので汎用性があると思われる。

粉末積層法は粉末樹脂を薄層に展開し目的の製品断面部にレーザー照射して焼結を繰り返すことで造形する方法であり、イオス社（NTTデータエンジニアリングシステムズ㈱）が専用システムを展示していた。適用できるプラスチックとしてはPS、PA、繊維強化PA、PEEKなどの専用粉末材料を使用する。

現状では、AM法は切削や射出成形品に比較すると使用材料の制約や造形物の性能的な違いもあり汎用的に応用するには限界がある。一方、中空の幾何学的形状を自由に造形できるという利点がある。開発段階であり将来はどの方法が本命になるかは現在のところ定かではない。

一方、我が国の㈱メーディックでは新しい概念の型内溶融賦形法を展示・成形実演していた。同社の成形法には光成形成法とマイクロ波照射成形成法がある。光成形成法は光造形法などで作られたモデルをマスターとして作製したシリコーン型を用いる。マイクロベレット（標準粒径700μm程度）をキャビティに充填し、型内を真空引きしながら近赤外線を照射して溶融賦形した後、冷却固化して成形品を得る方法である。一方、マイクロ波照射成形成法は同様なプロセスで、近赤外線の代わりにマイクロ波を照射して溶融賦形する方法である。両法で成形できる材料としてはPE、PS、PMM A、ABS、PC、ABS-G、PC-Gなどは成形し易いという（案山子）

事務局レポート

■第338回 理事会議事録

1. 日時 平成26年7月30日(水)
16時00分～17時00分
2. 場所 第一ホテル東京 4階「フロラ」
東京都港区新橋1-2-6
電話 03-3596-7788

3. 出席者

大野 泰昭	大井 英一	大塚 一郎
佐藤 昭	齋藤 森作	鈴木 幸雄
安達 七郎	川野 幸博	嶋田 修二
内藤 隆夫	山下慎一郎	白石 恵一
平塚 隆文	曾我部 上	大川 哲郎
上村 俊彦	滝口 裕	肥後 武重
腰越 稔	小松 幹也	関根 忠
小野 勝彦	武田 久徳	高橋 廣

以上出席24名(理事総数31名)

古澤 政弘 野邊弘一郎(以上監事2名)

上瀧 映(事務局)

4. 会長挨拶

本日は月末のお忙しい中をお集まりいただき誠に有難うございます。

今年の土用の丑の日は7月29日です。「土用」とは雑節(ごつふし)の一つで立春、立夏、立秋、立冬の前の十八日間を指します。これは古代中国の陰陽五行説思想に由来するそうです。丑の日 ウにちなみ 馬や牛の肉 瓜や梅干しなどを食べるとスタミナがつくと信じられていて、鰻を食べる習慣は江戸時代の蘭学者：平賀源内が鰻屋の宣伝に、「本日、土用の丑の日」と書いたところ、暑さで売れずにいた鰻が売れに売れたことが始まりだそうです。

～省略～

本日は理事会終了後、先輩役員をお招きして納涼会を行うことから、円滑なご審議をお願いし挨拶とした。

5. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人と古澤正



弘監事が議事録に捺印する事を説明し了承された。

6. 議事

議題1. 経過報告(前回理事会以降の主要行事)

(1) 役員会等の開催

5月22日	第46回通常総会	上野精養軒
5月22日	第167回幹部会	上野精養軒
5月22日	第336回理事会	上野精養軒
5月22日	第337回理事会	上野精養軒
7月3日	第168回幹部会	

東京国際フォーラム

(2) 部会・委員会の開催

① 技能検定運営委員会

6月10日	水準調整会議	板橋校
6月14日	実技試験実施説明会	板橋校
7月19, 20日	機械操作説明会	板橋校
7月26, 27日	機械操作説明会	板橋校

② 能力開発推進委員会

6月21, 22日	技能向上講座(学科コース)	板橋校
6月28, 29日	技能向上講座(実技Aコース)	板橋校
7月5, 6日	技能向上講座(実技Bコース)	板橋校
7月9日	講師会議	東日本協会 会議室
7月12, 13日	技能向上講座(実技Cコース)	板橋校

③ 青年経営研究会(JPO)

5月27日	役員会	東日本協会 会議室
6月19日	定例会	銀座・栃ni BAR
7月12, 13日	定例会	(困り裏を囲んだ懇談)

会&ゴルフ) 山梨・富士桜CC

④ APM 会

5月26日 ハンディキャップ委員会
東日本協会 会議室
6月17日 第162回例会 久能CC

⑤ 技能士会

5月23日 工場見学会
沼津・東芝機械ソリューション
5月24日 総会 板橋校

⑥ 共済事業委員会

7月3日 役員会 東京国際フォーラム

(3) 支部会等の開催

6月6日 新潟支部、新潟県プラ振興会総会
月岡温泉

6月19日 埼玉県プラ振興会総会
さいたま市民会館

7月8日 墨東支部会 東武ホテルレバント

(4) 全日本プラ連合会

5月23日 西日本、中部日本通常総会
6月5日 第53回通常総会 横浜国際ホテル
終了後、経産省・化学課との意見交換会
6日 親睦コンペ・横浜CC

6月25日 新旧会長挨拶回り
経済産業省、石油化学協会他

議題2. 会員の入会・退会承認の件

(1) 入会の部

正会員 1社
①会社名 東邦化成 代表：杉山博一
(都心支部)

住 所 板橋区蓮沼町37-10

業 種 成形化工

賛助会員 1社

①会社名 ㈱JSOL

住 所 中央区晴海2-5-24

晴海センタービル

業 種 流動解析

(2) 退会の部

①会社名 日東絶縁㈱ (江東支部)

退会理由 会社都合

議題3. 各支部・委員会構成、役割分担の件

専務理事より、配布資料17に沿って 製品技術部会・委員の入替え及び50周年記念事業委員会を削除した旨を説明した。

上記議題3について特に異議なく了承された。

報告事項

- ・幹部会報告 (会員減少防止策)
- ・本日の納涼会の開催要領について
- ・6月末会員アンケート調査結果について
- ・組合 ETCカード事業
(4月よりメリット大きくなった大口多頻度割引制度について共済 事業委員会から報告と利用のお願い)
- ・本部：6月末残高試算表について
- ・次回第339回理事会：9/10(水)14時
(会場は、基金会館と同じJR浅草橋の南側に位置する健保会館で開催)
- ・その他意見

東電管内の電力料金高騰の影響について、会員企業では東日本大震災前の電力コスト比4割以上値上がりし、材料価格のアップと合わせ収支面で極めて影響が重くなっているとの意見が目立った。

以上をもって、第338回理事会における審議を終了し、議長は16時55分、理事会の閉会を宣した。

■支部会開催等

【墨東支部会】

7月8日(火)18時、錦糸町の東武ホテル・レバント東京にて墨東支部会を開催しました。賛助会員を含め24名が参加。梅雨晴れの一日、スカイツリーの夜景が映える中、大塚支部長の挨拶で始まりました。本部報告では組合事業の一つで、4月からメリットが増したETCコーポレートカード事業について説明と勧誘がありました。懇親会では各社最近の状況についてスピーチし情報交換の場となりました。



都立中央・城北職業能力開発センター板橋校
プラスチック加工科（6ヶ月コース）



求人のお願いと10月生募集



プラスチック加工科では、射出成形技術について6ヶ月の訓練を行っています。当科は技能検定の射出成形作業2級程度の技術習得を訓練目標とし、金型の分解・組立、工作機械を用いた機械加工による簡単な金型の補修ができるように日々訓練に励んでおります。つきましては当科の就職支援、入校生募集について以下の事業にご協力をお願い申し上げます。

- 平成26年4月生への求人情報の提供
- 平成26年10月入校生の募集

【10月生追加募集】

- 訓練内容
 - ・金型の取り付け/取り外し
 - ・成形条件の設定/不良対策
 - ・金型のメンテナンス
 - ・機械加工/仕上げ作業
 - ・製図/CAD操作
- 授業料 無料
- 選考内容 筆記試験（国語・数学）・面接
- 募集期間 平成26年8月27日（水）
～9月5日（金）
- 選考日 平成26年9月12日（金）



訓練機器の一例（日本製鋼J85EL II、他6台）

求人、訓練生募集、見学についてのお問い合わせは当校までお気軽にご相談ください。



生徒作品の一例（マグカップ、六角容器、ヘアブラシ）



射出成形機取り扱い訓練の様子

お問い合わせは








東京都立中央・城北職業能力開発センター 板橋校
174-0041 東京都板橋区舟渡2-2-1（JR埼京線 浮間舟渡駅 徒歩3～4分）
電話 03-3966-4131 FAX 03-3966-3161
担当指導員 町田、三宮

平成二十六年

暑中お見舞い申し上げます



暑さ厳しい折柄
皆様の御健勝を
お祈り申し上げます

<p>〒108-002 東京都荒川区東尾久五-1-1 電話 〇三(五八五五)三五六〇</p> <p>代表取締役 福田 晴通</p> <p> 旭モールディング株式会社</p>	<p> 浅間合成株式会社</p> <p>代表取締役 嶋田 修二</p> <p>〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船橋6081-1 TEL 0555-73-2831 FAX 0555-73-2832 URL: http://www.asama-gosei.jp P-E-mail: shimach@poplar.ocn.ne.jp</p>	<p> 株式会社 アフター</p> <p>代表取締役社長 実方 京一郎</p> <p>〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-5 TEL.03(5537)1238 FAX03(5537)1236 URL: http://www.aftr.co.jp E-mail: info@aftr.co.jp</p>
<p>〒108-002 東京都荒川区荒川五-1-39-1-2 電話 〇三(三八九二)五七二二(代)</p> <p>代表取締役 齋藤 森作</p> <p> 株式会社 荒川樹脂</p>	<p>本社 千葉県川崎市高津区手袋七〇一三 電話 〇四(八五〇)二七七代</p> <p>代表取締役社長 佐藤 義明</p> <p> 創業八十九年 最古の歴史・最新の技術 株式会社 イガラシコーカ</p>	<p> プラパート</p> <p>株式会社 石果製作所</p> <p>代表取締役社長 大野 泰昭</p> <p>〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9 TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712 URL: http://www.pla-part.com/</p>
<p>本社 東京都中野区中央一-1-41-1 電話 〇三(三三三三)六七三二(代) FAX 〇三(三三三三)六七三二(代) 〒175-0055 埼玉県加須市上種足一-180 電話 〇四(八七三)一三九六 FAX 〇四(八七三)一五九六</p> <p>代表取締役社長 安達 七郎</p> <p> 石田プレス工業株式会社</p>	<p>本社 千葉県東葛市戸田区緑町五-1-41-13 電話 〇三(三六七九)一〇六〇(代) FAX 〇三(三六七九)一〇九一</p> <p>代表取締役社長 野邊 弘一郎</p> <p> エンゼル産業株式会社</p>	<p> Enplas 株式会社 エンプラス</p> <p>代表取締役社長 横田 大輔</p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048(253)3131(代) http://www.enplas.com</p>

平成二十六年

暑中お見舞い申し上げます



<p>電話 千原06 FAX 〇三(三六二五)三二六五</p> <p>東京都墨田区東駒形二一八二二 〇三(三六二五)五六五(代)</p> <p>代表取締役社長 原田裕司</p> <p>OSK 大塚産業株式会社</p>	<p>電話 千原06 〇三(五七六九)二六〇〇</p> <p>東京都港区港南二一五一二 品川インターシティB棟9階</p> <p>代表取締役社長 川野幸博</p> <p>(K) 川澄化学工業株式会社</p>	<p>KAWATA 先進技術とトータルシステムで貢献 株式会社カワタ</p> <p>代表取締役社長 白井英徳</p> <p>〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-7-6 茅場町スクエアビル6F TEL 03-5645-7880(代)</p>
<p>株式会社環境経営総合研究所</p> <p>ERI Eco Research Institute Ltd.</p> <p>代表取締役 松下敬通</p> <p>本社 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-29 クリーン南平台ビル2F 電話 03-5428-3123 FAX 03-5428-3245 千葉工場 〒289-2505 千葉県旭市鎌数9163-35 電話 0479-60-5570 FAX 0479-60-5580 札幌工場 〒065-0043 北海道札幌市東区苗穂町14丁目2-21 電話 011-748-3850 FAX 011-748-3851 茨城工場 〒300-0003 茨城県土浦市藤ヶ丘1-2 電話 050-8886-7268 FAX 029-831-0071</p>	<p>電話 千原06 〇三(三九三二)六三一</p> <p>東京都板橋区若木三二一五一三</p> <p>代表取締役 工藤哲夫</p> <p>(KP) 工藤プラスチック工業株式会社</p>	<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗浄剤の製造販売</p> <p>KOBEGOSEI 神戸合成株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮岡督修</p> <p>本社:兵庫県小野市匠台10番地 TEL: (0794) 64-7771(内) FAX: (0794) 64-7772 URL: http://www.kobe-gosei.co.jp</p> <p>BIG FORCE</p>
<p>SG 株式会社 サトーゴーセー</p> <p>代表取締役社長 佐藤昭</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel: 03-3955-4066・Fax: 03-3955-2081 東松山 〒335-0071 埼玉県東松山市大字新郷70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>	<p>本社 電話 千原06 FAX 〇三(三八六三)三五七八</p> <p>東京都台東区柳橋二一九一三</p> <p>代表取締役社長 平塚隆文</p> <p>(SK) 株式会社三光社</p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p>(SKK) 白石工業株式会社</p> <p>代表取締役会長 白石恵一 代表取締役社長 白石創士</p> <p>千原06 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301(代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>
<p>電話 千原06 〇四(七一三三)〇四七一</p> <p>千葉県柏市正連寺九〇</p> <p>代表取締役 曾我部大上</p> <p>Shinjyo 株式会社新上</p>	<p>STAR</p> <p>関東支店 支店長 三浦基</p> <p>株式会社スター精機</p> <p>関東支店 〒327-0003 栃木県佐野市大橋町3241 電話 0283-24-8211 FAX 0283-24-5687</p>	<p>電話 千原06 〇四二(七七四)八九一</p> <p>神奈川県相模原市緑区橋本六一五一〇 中屋大第2ビル2F</p> <p>代表取締役 生倉茂</p> <p>セーチョー工業株式会社</p>

平成二十六年

暑中お見舞い申し上げます



 <p>未来を創る 株式会社 ソディック</p> <p>代表取締役社長 金子 雄 二</p> <p>〒224-8522 横浜市都筑区仲町台 3-12-1 TEL : 045-942-3111 (大代) URL www.sodick.co.jp</p>	<p>拓水工業株式会社</p> <p>代表取締役 奥山英明</p> <p>電話 03-6303-0303 東京都江戸川区中葛西7-1-2619 電話 03-(3675)2731</p>	 <p>業務用調理機器</p> <p>株式会社 千葉工業所</p> <p>代表取締役 長島勝敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 ☎047-438-3411(株) FAX047-438-3413 e-mail:peels@chiba-ind.co.jp URL:http://www.chiba-ind.co.jp</p>
<p>TECHNO</p> <p>テクノ精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 野本 義三</p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒木台495-5 TEL 04(7155)6055 FAX 04(7155)6662 http://www.technoiseiko.com/ E-mail:info@technoiseiko.com</p>	 <p>東芝機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 飯村 幸生</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL : 03-3509-0300 FAX : 03-3509-0331</p>	<p>長野県プラスチック工業会</p> <p>会長 小野勝彦</p> <p>〒380-0806 長野市中御所1-1-2101 電話 026-(226)6151 FAX 026-(226)6151 福生ビル2階</p>
 <p>株式会社 日新化成</p> <p>代表取締役社長 小松 幹也</p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL. 048-624-8450</p>	 <p>日本ヒートン株式会社</p> <p>取締役社長 森川厚孝</p> <p>電話 053-5303-0533 静岡県浜松市北区新都田1-1-21 電話 053-(484)1271</p>	<p>役に立つ会社</p>  <p>NIPPLA</p> <p>日本プラスチック工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 浅見好邦</p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 電話 03(3807)8651番(代表) 〒116-0002 さいたま工場 さいたま市見沼区宮ヶ谷3-349 電話 048(683)7281番(代表) 〒337-0011 http://www.nippla-web.co.jp</p>
 <p>独創技術のコンサルテーション</p> <p>株式会社 日本油機</p> <p>代表取締役 市川博章</p> <p>本社事業所 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東瀬野辺4-2-2 Tel (042) 757-6681(代) Fax (042) 757-6683</p>	 <p>不二プラスチック株式会社</p> <p>代表取締役 池下龍一郎</p> <p>電話 030-606-0299 茨城県稲敷市幸田六七七 電話 0299-(79)2324</p>	<p>平和工業株式会社</p> <p>代表取締役 内藤雅文</p> <p>電話 03-3779-0311 東京都大田区京浜島2-1-14 電話 03-(379)0311</p>

<p>電 話 03-6861 東大阪高井田本通り二二二番十 〇六(六七八二)一八八一</p> <p>代表取締役 鈴木 木 雅 之</p> <p>株式会社 ホーライ</p>	<p> In search of rapport</p> <p>株式会社 松井製作所 代表取締役社長 松井 宏信</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎跡業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 http://www.matsui-mfg.co.jp/</p>	<p>mc/nac 株式会社 三井化学分析センター</p> <p>代表取締役 三 戸 邦 郎</p> <p>営業統括部 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-17 新横町ビル5F TEL:03-6860-3161 FAX:03-6860-3165</p>
<p> 常務取締役 清水 勲</p> <p>ムラテック情報システム株式会社</p> <p>本 社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 大宮支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123</p>	<p> 山下電気株式会社</p> <p>代表取締役社長 山 下 慎 一 郎</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL:http://www.yamashita-denki.co.jp</p>	<p> 増田 英輔 代表取締役社長</p> <p>山宗株式会社 関東事業部</p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL:03-5297-7987 FAX:03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>
<p><i>Heartful Technology</i>  株式会社ユーシン精機</p> <p>代表取締役社長 小谷 真由美</p> <p>■本社 〒612-8492 京都市伏見区久我本町11-269 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東京統括営業所 電話 03(3245)0800 FAX 03(3245)0808 □北関東統括営業所 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927</p>	<p> 株式会社リーデンス</p> <p>代表取締役社長 肥 後 武 展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161①</p>	<p>東プラ健保に加入して 福利厚生の充実を！</p> <p> 東日本プラスチック健康保険組合</p> <p>植 時 理事 務 田 田 長 理 田 田 事 秀 周 田 一 明</p> <p>〒111-0022 東京都台東区柳橋一丁目一四 電話 〇三(三八六)一〇五二(代)</p>
<p>東日本プラスチック製品工業協会 共済事業委員会</p> <p>～会員のお役に立つ事業を 推進しています～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種ユニフォーム、安全靴、 タオル等 斡旋 ○ETCカード事業、廢プラ事業 ○団体医療共済保険、PL保険、 団体生命保険 ○プラスチック手帳他 <p>事務局 高橋 (電話 03-3541-4321)</p>	<p>全日本プラスチック製品工業連合会</p> <p>会 長 川 寄 貞 藏 副 会 長 大 野 泰 昭 副 会 長 加 藤 豊 副 会 長 後 藤 鉦一郎 副 会 長 原 藤 直 宏 専務理事 高 橋 直 廣</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL http://www.jpplf.gr.jp</p>	

平成二十六年

暑中お見舞い申し上げます



業界OBの皆様の年金制度継続を図ります

当基金では、本年4月施行の厚生年金基金制度法改正に対し、東日本プラスチック業界のOBの皆様のお老後安定に貢献すべく、持続可能な制度設計へ抜本改訂を行ったうえで年金制度継続を目指しております。

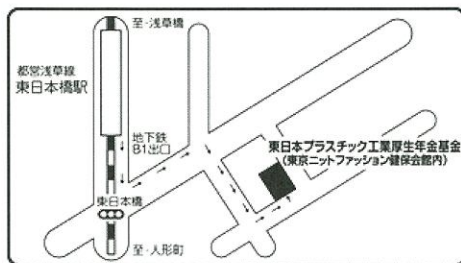
現在、加入中の事業所様の引き続きのご支援をお願い申し上げるとともに、未加入の事業所様も当基金へのご加入をご検討賜りたくお願い申し上げます。

法改正の内容や当基金の検討状況など、ご質問等がございましたら当基金までお寄せください。

東日本プラスチック工業厚生年金基金

理事長 宮越 健
常務理事 栗城 靖

住所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13
東京ニットファッション健保会館2階
TEL 03-3862-4308 FAX 03-3851-7976



東日本プラスチック製品工業協同組合

～今後とも、会員企業のお役に立つよう下記の事業に積極的に取り組んでまいります～

- 各種ユニフォーム・事務服、安全靴、タオル等斡旋
- ETCカード事業
- 団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険
- 廃プラ事業
- プラスチック手帳他

上記事業を一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合
代表理事 嶋田 修二

電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324